

# 風土記の丘の花だより<sup>140</sup>

## 今、そしてこれから見られる植物(2022年6月25日)

雨の日は歩きにくいし、雨上がりは蒸し暑いし、と言いながらも、外歩きは楽しいものです。梅雨時も、足元に気を付けながら楽しく歩きましょう。ただし、熱中症対策は万全に！



アオツツラフジの花が咲いています。と言われても「何？それ」という感じですよ。誰ひとり気に留める事もないようなつる草です。ハッキリ言ってしょうもない草です。花も5mmあるかないか、色もあるのかないのか、写真のような本当に目立たない花です。でも見つけてやって下さい。秋になるとブドウのような実を付けるので、「あっ、これだったのか」と思い出すことでしょう。上とは対照的に華やかな花ですね。ごぞんじアガパンサスです。学名はAgapanthus、直訳すると「愛の花」です。南アフリカ原産で、100年以上も昔に日本に伝わってきたらしいです。これは谷山家の庭で撮った写真ですが、気のせいでしょうか、年々、花の数が減って来ているような気がします。もうすぐ大きなアゲハの仲間が蜜を求めて集まって来ることでしょう。



梅雨入り前からアジサイがきれいです。やっぱり雨が似合う花と言えこれですね。テレビの天気予報や、園芸の情報などでよく「花びらのように見えますが、実は萼片です」と言っているのを耳にします。そのおかげで、真ん中のポチっとしたところが花であることは、多くの人の知るところとなりましたね。



ネムノキの花が咲いています。万葉植物園で、薄ピンク色の花がたくさん落ちていて気づきました。「昼は咲き 夜は恋ひぬる ねぶの花・・・」ねぶはこの花の昔の呼び名です。そんな万葉歌を口ずさみながら愛でてください。 松下